

項目	非常用発電機の更新				財務部 資産経営課	
					浜北区 区振興課	
11月補正額(千円)	内容 (千円)	委託料				
7,300		7,300				

目的	大規模災害により電力供給が途絶えた時、災害対策本部の運営、医療支援、地域支援などさまざまな災害対策業務を行うための電源を確保するため、本庁舎と浜北区役所の老朽化した非常用発電機及び燃料タンクを更新するもの。																																																				
	内容	<p>1 整備の概要及び事業費</p> <p>(1) 本庁舎(北館を除く) 庁舎等整備事業 (資産経営課)</p> <p>設計委託料 5,000 千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>更新前</th> <th>更新後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置年度</td> <td>昭和 55 年</td> <td>平成 25 年</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>1,000KVA</td> <td>1,250KVA</td> </tr> <tr> <td>連続運転能力</td> <td>72 時間</td> <td>168 時間</td> </tr> <tr> <td>無給油連続運転時間</td> <td>8 時間</td> <td>36 時間</td> </tr> <tr> <td>タンク容量</td> <td>1,950ℓ</td> <td>6,000ℓ</td> </tr> <tr> <td>燃料</td> <td>A 重油</td> <td>軽油</td> </tr> <tr> <td>供給範囲</td> <td>災害対策本部など 本館の一部</td> <td>本館全体 (空調除く)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 浜北区役所 庁舎維持管理事業 (浜北区区振興課)</p> <p>設計委託料 2,300 千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>更新前</th> <th>更新後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置年度</td> <td>平成 6 年</td> <td>平成 25 年</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>10KVA</td> <td>160KVA</td> </tr> <tr> <td>満タン時連続運転時間</td> <td>240 時間</td> <td>72 時間</td> </tr> <tr> <td>連続運転能力</td> <td>240 時間</td> <td>72 時間</td> </tr> <tr> <td>燃料</td> <td>軽油</td> <td>軽油</td> </tr> <tr> <td>タンク容量</td> <td>490ℓ</td> <td>3,000ℓ</td> </tr> <tr> <td>供給範囲</td> <td>電話交換機室など一部</td> <td>職員の執務室まで拡大</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 スケジュール</p> <p>平成 24 年度 設計</p> <p>平成 25 年度 工事</p>					区分	更新前	更新後	設置年度	昭和 55 年	平成 25 年	出力	1,000KVA	1,250KVA	連続運転能力	72 時間	168 時間	無給油連続運転時間	8 時間	36 時間	タンク容量	1,950ℓ	6,000ℓ	燃料	A 重油	軽油	供給範囲	災害対策本部など 本館の一部	本館全体 (空調除く)	区分	更新前	更新後	設置年度	平成 6 年	平成 25 年	出力	10KVA	160KVA	満タン時連続運転時間	240 時間	72 時間	連続運転能力	240 時間	72 時間	燃料	軽油	軽油	タンク容量	490ℓ	3,000ℓ	供給範囲	電話交換機室など一部
区分		更新前	更新後																																																		
設置年度	昭和 55 年	平成 25 年																																																			
出力	1,000KVA	1,250KVA																																																			
連続運転能力	72 時間	168 時間																																																			
無給油連続運転時間	8 時間	36 時間																																																			
タンク容量	1,950ℓ	6,000ℓ																																																			
燃料	A 重油	軽油																																																			
供給範囲	災害対策本部など 本館の一部	本館全体 (空調除く)																																																			
区分	更新前	更新後																																																			
設置年度	平成 6 年	平成 25 年																																																			
出力	10KVA	160KVA																																																			
満タン時連続運転時間	240 時間	72 時間																																																			
連続運転能力	240 時間	72 時間																																																			
燃料	軽油	軽油																																																			
タンク容量	490ℓ	3,000ℓ																																																			
供給範囲	電話交換機室など一部	職員の執務室まで拡大																																																			

項目	障害者自立支援給付事業 介護給付等事業				健康福祉部	
					障害保健福祉課	
11月補正額(千円)	内容 (千円)	扶助費				
1,178,831		1,178,831				

目的	障害者の個々の能力と適性に応じた障害福祉サービスを提供するため。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者自立支援サービス報酬改定</li> <li>・市民税非課税世帯の利用料無料化(22年度～)の影響や施設整備、事業者の増など</li> </ul>
内容	<p>補正額 1,178,831千円 (6,818,167千円→7,996,998千円)</p> <p>(1) 報酬改定 843,989千円 (皆増)</p> <p>①新規加算の創設 643,663千円 たん吸引、日中活動系サービスにおける人員配置体制加算、夜勤職員加算など</p> <p>②処遇改善加算(県事業⇒市事業) 170,428千円 財源 国10/10→国1/2、県1/4、市1/4</p> <p>③地域区分の変更 29,898千円 国家公務員の地域手当区分に倣って地域区分の見直し 丙地(加算率0%)⇒乙地(加算率3%) ※27年度にかけて段階的に増加</p> <p>(2) 自然増 274,124千円 延利用件数 6,946件(当初51,568件→見込58,514件) ※23年度実績45,117件 想定以上の新規事業所の開設などにより当初見込以上の増。</p> <p>(3) 児童施設入所者加齢児制度変更 60,718千円 法改正により24年度から障害者自立支援事業移行分(23年度までは児童保護事業)の当初見込以上の増</p>

項目	私立学校施設整備助成事業（補助金）						こども家庭部	
							次世代育成課	
11月補正額（千円）	内容 （千円）	補助金						
16,000		16,000						

目的	私立学校（中学校・高校・幼稚園）の校舎及び屋内運動場の地震に対する安全性を確保するため、耐震化を目的とした施設整備を実施する学校法人に対し助成を行う。
背景	市内私立幼稚園 52園（うち耐震化実施済園 47園） 園児数 11,186人 ※H24.5.1時点
内容	<p><b>1 補助制度</b></p> <p>(1) 補助条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改築を必要する基準 <math>I_s/E_t</math> 値 1.0未滿かつ <math>I_s</math> 値が 0.6未滿</li> <li>・補強を必要とする基準 <math>I_s/E_t</math> 値 1.0未滿かつ <math>I_s</math> 値が 0.6以上</li> </ul> <p>(2) 補助率</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震化に要する補強・改築に伴う借入額の 1/10（上限 10,000千円）</li> </ul> <p><b>2 補正額 16,000千円（財源：一般財源）</b></p> <p>(1) 気賀幼稚園（北区細江町気賀 997番地 1） 補助金 6,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員 180人（園児数 154人）</li> </ul> <p>(2) 篠ヶ瀬幼稚園（東区篠ヶ瀬町 286番地） 補助金 10,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員 200人（園児数 198人）</li> </ul> <p>※ <math>I_s</math> 値（構造耐震指標） …… 建築物が保有する耐力を表わす指標</p> <p>※ <math>E_t</math> 値（静岡県の耐震判定目標値） …… 東海地震に対して安全を確保するための建築物が保有する耐力の目標値</p>

項目	民間保育所施設整備助成事業（補助金） ＜債務負担行為含む＞					こども家庭部	
						保育課	

11月補正額（千円）	内容 （千円）	補助金				
4,203		4,203				

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改築に合わせた定員増により待機児童の解消を図る。</li> <li>・築年数の経過に伴う設備等の老朽化や耐震性の劣る既存保育所の改築を行う。</li> </ul>
----	---

背景	<p>国の平成20年度第2次補正予算を受けて創設された、県の「安心こども基金」を財源として事業を実施する。</p> <p>※基金の適用期間：平成24年度まで（ただし、保育所施設整備は平成24年度に着手することを条件に平成25年度事業完了まで）</p>
----	---

内容	<p>1 概要</p> <p>(1) エオスプレスクール 園舎、設備の老朽化、耐震対策に伴い改築</p> <p>(2) 桜ヶ丘保育園 定員増に伴う増改築</p> <p>2 予算額</p> <p>(1) 補正額 4,203千円（財源：県 3,426千円）</p> <p>(2) 債務負担行為限度額 212,398千円（財源：県 173,081千円）</p> <p>※期間：平成24年度～25年度</p>				
	（単位：千円）				
	施設名	定員	助成額 合計	24年度 11月補正	25年度
	エオスプレスクール （南区遠州浜四丁目）	90人⇒90人	72,127	1,399	70,728
	桜ヶ丘保育園 （北区都田町）	100人⇒130人	144,474	2,804	141,670
	計	30人増	216,601	4,203	212,398

項目	省エネルギー改修推進事業					環境部	
						環境政策課	
11月補正額(千円)	内容 (千円)	需用費	工事費				
46,000		26,000	20,000				

目的	<p>エネルギーの使用の合理化に関する法律における特定事業者としてのエネルギー使用の削減が求められる中で、省エネルギー対策に集中投資し、市有施設の省エネルギー化を促進するため</p>
内容	<p><b>1 LED電球の一括導入 26,000千円</b></p> <p>市有施設にかかる白熱電球からLED電球への転換。</p> <p>(1) 対象施設 350施設程度</p> <p>(2) 交換個数 9,000個程度</p> <p>(3) 削減効果 13,000千円/年程度</p> <p>(4) 投資回収年 2年程度</p> <p><b>2 省エネルギー改修 20,000千円</b></p> <p>電気またはガスなどの使用量の削減が大きく見込まれ、5年程度で投資回収が可能な市有施設における空調・電気設備等の改修。</p> <p>(1) 対象施設 10施設程度</p> <p>(2) 改修内容 ポンプ等へのインバータ導入、変圧器の停止または統合など</p> <p>(3) 削減効果 7,000千円/年程度</p>

項目	スマートインターチェンジ推進事業						土木部
							道路課
11月補正額(千円)	内容 (千円)	委託料					
13,000		13,000					

目的	東名高速道路へのスマートインターチェンジ設置に向け、関係機関との調整・協議及び詳細設計業務に必要な現地の現況地形図の作成
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の施策事業である高速道路利便増進事業が平成29年度までの時限制度。</li> <li>スマートインターチェンジの設置に向けては全国各自治体で活発に動いており、財源確保のためにも早期の対応が求められている。</li> </ul>
内容	<p><b>1 事業内容</b></p> <p>(1) スマートインターチェンジ設置候補地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東名高速道路三方原PA (産業・経済の活性化)</li> <li>東名高速道路舘山寺BS付近 (観光交流の促進)</li> </ul> <p>(2) 業務内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>修正地形図作成 (連結許可申請用) (既存の1:2500地形図を基に経年変化修正及び精度修正を行い、協議用1:1000地形図を作成)</li> <li>現況平面図作成 (詳細設計用) (既存の1:500道路台帳図を基に現地測量を行い設計用の1:500平面図を作成)</li> </ul> <p><b>2 補正額 13,000千円 (財源: 一般財源)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>修正地形図作成 (連結許可申請用) 1,000千円</li> <li>現況平面図作成 (詳細設計用) 12,000千円</li> </ul>

項目	国県道整備事業（阿蔵山土砂採取事業）						土木部
							道路課
11月補正額（千円）	内容 （千円）	委託料					
31,000		31,000					

目的	津波対策として静岡県が整備する防潮堤へ阿蔵山の採取土砂を活用するため
内容	<p><b>1 事業内容</b></p> <p>(1) 阿蔵山の土砂採取に伴う測量設計等業務</p> <p>【全域】 現況地形の測量及び浜松市土地開発公社所有地の境界測量、既存地質調査資料のとりまとめ</p> <p>【阿蔵山開発地区南部】 土砂採取工事に対する詳細設計</p> <p>【阿蔵山開発地区北部】 防潮堤の整備に必要となる土砂量に対する基本設計及び調整池下流河川の流下能力調査</p> <p>(2) 国道152号バイパス予備設計修正業務 阿蔵山の土砂採取方針に則った道路予備設計</p> <p>(3) 阿蔵山の土砂採取に伴う自然環境調査業務 阿蔵山開発地区北部周辺の森林等に生息する動植物の調査</p> <p>(4) 阿蔵山の採取土砂の品質確認試験業務 堤防に使用する土砂の品質確認試験</p> <p><b>2 補正額 31,000千円（財源：一般財源）</b></p>

項目	モザイカルチャー推進事業 ＜債務負担行為含む＞				都市整備部	
					緑政課	
11月補正額（千円）	内容 （千円）	委託料	負担金			
8,100		2,200	5,900			

目的	平成 25（2013）年度にカナダ・モントリオール市で開催される「モザイカルチャー世界博」に、日本のモザイカルチャー発祥の地として作品を出展し、日本を代表する園芸技術と文化を有する都市としてアピールする。																								
背景	平成 21（2009）年度に「浜松モザイカルチャー世界博（浜名湖立体花博）」を開催した後、日本のモザイカルチャー発祥の地として、JR浜松駅北口及びはままつフラワーパーク内のメモリアルガーデンへの作品展示や市民講座の開催など、新たな園芸文化・技術を各方面に広くアピールして、市民等への普及・啓発に努めている。																								
内容	<p>1 概要</p> <p>「モントリオール・モザイカルチャー世界博（MIM）2013」  MIM=モザイカルチャーインターナショナルモントリオール</p> <p>○開催場所 カナダ ケベック州 モントリオール市 ボタニカルガーデン</p> <p>○開催期間 平成 25(2013)年 6 月 21 日～9 月 29 日</p> <p>○テ ー マ 「希望の地」</p> <p>○出展概要 モザイカルチャー「（仮）創造都市浜松」</p> <p>2 事業費 18,200 千円（H24：8,100 千円、H25:10,100 千円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H24</th> <th>※H25</th> <th>計</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>2,200</td> <td>4,200</td> <td>6,400</td> <td>H24:デザイン設計業務委託 H25:現地展示物制作業務委託</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>5,900</td> <td>5,900</td> <td>11,800</td> <td>出展業務（躯体制作、維持管理、撤去処分）に対する負担金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8,100</td> <td>10,100</td> <td>18,200</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 債務負担行為を設定 期間 H24～H25 限度額 10,100 千円</p>					区分	H24	※H25	計	備考	委託料	2,200	4,200	6,400	H24:デザイン設計業務委託 H25:現地展示物制作業務委託	負担金	5,900	5,900	11,800	出展業務（躯体制作、維持管理、撤去処分）に対する負担金	計	8,100	10,100	18,200	-
区分	H24	※H25	計	備考																					
委託料	2,200	4,200	6,400	H24:デザイン設計業務委託 H25:現地展示物制作業務委託																					
負担金	5,900	5,900	11,800	出展業務（躯体制作、維持管理、撤去処分）に対する負担金																					
計	8,100	10,100	18,200	-																					



項目	インターネットシステム事業費 ＜債務負担行為＞				企画調整部
					情報政策課 広聴広報課
11月補正額(千円)	内容 (千円)	委託料	役務費		
(債務) 271,259		64,709	206,550		

目的	<p>インターネットシステムについて、現在は地域情報センターにて浜松市独自のインフラで運用しているが、大災害発生時にも、インターネットを活用した情報発信及び情報収集が行える環境とするため、地域の異なる複数の民間データセンターを活用したクラウドシステムへ移行するもの。</p> <p>また、併せてクラウド型のCMS（ホームページ管理・作成システム）を導入し、利用者の利便性向上やホームページ運營業務の効率化を図るもの。</p>
内容	<p><b>1 事業内容及び事業費</b></p> <p>(1) インターネットシステム事業費（クラウドシステム）（情報政策課）</p> <p>期間：平成25年4月～平成28年3月</p> <p>債務負担行為設定額： 211,809千円</p> <p>システム構築委託料 14,709千円</p> <p>システム利用料 197,100千円</p> <p>(2) インターネットシステム事業費（CMS）（広聴広報課）</p> <p>期間：平成25年4月～平成28年3月</p> <p>債務負担行為設定額： 59,450千円</p> <p>システム構築委託料 50,000千円</p> <p>システム利用料 9,450千円</p> <p><b>2 スケジュール</b></p> <p>平成25年4～9月 システム構築、データ移行、検証</p> <p>平成25年10月 クラウドシステム稼働</p> <p>平成25年11月 CMS稼働</p>

項目	ビルエネルギーマネジメントシステム導入事業費<債務負担行為>	環境部					
		環境政策課					
債務負担行為(千円)	内容 (千円)	工事費	委託料				
100,000		95,600	4,400				

目的	<p>エネルギーの使用の合理化に関する法律における特定事業者としてのエネルギー使用の削減が求められる中で、省エネルギー対策に集中投資し、市有施設の省エネルギー化を促進するため</p>
内容	<p>計測装置の設置により、施設の電力使用状況を把握するとともに、電力ピーク時には自動制御を行い、電気使用量の削減及び電気料金の削減を実現するビルエネルギーマネジメントシステム（「BEMS」）を導入するもの。</p> <p>イメージ図</p> <p>1 設置施設数 20 施設程度</p> <p>2 電気料金削減見込額 15,000 千円/年程度</p> <p>3 投資回収年 7 年程度</p> <p>4 事業費 100,000 千円</p> <p>設置費 95,600 千円</p> <p>サービス料 4,400 千円 (22 ヶ月)</p> <p>(電力使用量データの提供及び使用量削減に向けたアドバイス等)</p> <p>※歳入 エネルギー管理システム導入促進事業費補助金 34,000 千円 (社団法人 環境共創イニシアチブ)</p>

項目	外国人子ども教育支援推進業務委託費 ＜債務負担行為＞					学校教育部	
						指導課	
債務負担行為(千円)	内容 (千円)	委託料					
45,824		45,824					

目的	<p>通級型と派遣型を併用した外国人子ども教育支援推進業務について派遣型を主とした形に再構築することにより、全ての子どもが自分の通学する学校で支援を受けられる体制を構築するもの。</p>
背景	<p>通級型日本語・母国語教室等業務（はまっこ・まつっこ）は事業開始より5年が経過したが、子どもの安全や保護者の送迎の負担等、通級における課題が出ている。また、学習内容を理解し、表現するための日本語力を身につけるために、授業の中で子どもをサポートする支援者の派遣を学校から強く求められるようになってきていることから、子どもの発達段階を踏まえた一人一人のニーズに応じた支援が行えるように、現行事業の見直しが求められている。</p>
内容	<p><b>1 事業内容 債務負担行為限度額 45,824千円（H24～H25）</b> 日本語・学習支援業務及び初期適応・母国語支援業務</p> <p>(1) 日本語・学習支援業務委託 31,110千円 各学校に外国人児童生徒の日本語・学習支援を行う支援者の派遣</p> <p>(2) 初期適応・母国語支援業務委託 14,714千円 ア 外国人児童生徒への初期適応、保護者対応（通訳、翻訳）を行う支援者の派遣 イ 母国語教室（3会場4教室）の開講 ウ 翻訳業務（中国語、ベトナム語、タガログ語）</p> <p><b>2 従前事業からの主な変更点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語・学習支援業務について、派遣型へ一本化することにより、これまで以上に多くの子どもたちが、初期段階の日本語の基礎学習から教科補充まで支援を受けられる。 H24支援見込数 学校105校中 82校 H25支援可能数 学校105校中105校</li> <li>各学校では子どもの習熟度に応じ、教師が支援時間数を決められることにより、きめ細やかな指導ができる。</li> </ul> <p><b>3 再編イメージ</b></p> <pre> graph LR     A[派遣型日本語教室：まなぶん] --&gt; B[日本語・学習支援（派遣型）]     C[通級型日本語教室：はまっこ] --&gt; B     D[通級型母国語教室：まつっこ] --&gt; E[母国語教室（通級型） 初期適応支援（派遣型）]   </pre>